

平成29年度

ほおの木っ子

喜多市立第二小学校

学校だより

平成29年11月13日(月)第11号

発行責任者 校長 石田 秀喜

<笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・コツコツがコツ!~>

見方を変えると 見え方が変わる

ある街に「おばけえんとつ」があるということで、子どもたちの間でちょっとした騒ぎになったそうです。

ある場所ではえんとつが1本に見え、別の場所では2本に見えるのだそうです。——

もちろん、これは2本のえんとつの重なり具合で見え方がちがったわけですが、物を見るとき、見る場所(視点)が変わると見え方も変わるということでしょうか。

ともすると、私たちは子どもたちを一面的な見方でとらえ、時に欠点や不足を指摘してしまいがちです。

見方を変えると、見え方が変わります。

見え方が変わると、子どもへのかかわり方も変わっていく。

短所だと思っていることも、見方を変えると長所にもなっています。

「なんて落ち着きのない子だ。」と見るか、「とても活動的な子だ。」と見るかで、その後の言葉かけやかかわり方も違ってくるのではないのでしょうか。

2学期も大詰めとなりました。これからもいろいろな活動の中で、多様な見方と関わりを通して、374名の子どもたち一人一人のよさと可能性を引き出し、さらに伸ばしていきます。これまで同様に、ご理解とご協力をお願いします。

ほおの木発表会

去る4日(土)、多数のご来賓並びに保護者、地域の方のご参加のもと、今年も「ほおの木発表会」並びに校内作品展を盛大に開催することができました。改めて御礼申し上げます。

すでに各学年のおたよりで、当日の子どもたちのがんばりについてお知らせしたところですが、まさに学年それぞれに特色を生かし、工夫した発表内容でした。「**みんなが主役**」を合言葉に、児童一人一人が自分発揮できる場を保障するとともに、みんなで協力して創り上げることのすばらしさを、体験を通して実感できるようにしてきました。

これからの時代を生きていく子どもたちにとっては、「**表現する力**」を身に付けていくことも大切になってきます。表現の方法は、言葉や音楽、絵画、踊りなど様々ですが、どのような方法であれ、自分の思いや考えをきちんと持つこと、それを人前でモジモジせず、堂々と発表できる力を子どもたちに身に付けさせていきます。

発表会当日の写真映像は、本校ホームページに掲載してあるのでご覧ください。